

学会誌 (*Journal of Computer Chemistry, Japan, JCCJ*) 投稿の手引き

(2011年度 電子投稿用)

1. 論文の投稿

1.1 論文の種類

1.1.1 論文

- (1) **研究論文 (General Paper)**: コンピュータ化学に関連する研究および教育に関するもので、独創性のある未発表のもの。
- (2) **ノート (Note)**: コンピュータ化学に関する断片的ではあるが、創造的な内容を持つ論文。刷り上がり4ページ以内。
- (3) **技術論文 (Technical Paper)**: コンピュータ化学に関するアイデア・提言や、教材・教具の開発、事例研究などを内容とし独創性のある未発表のもの。
- (4) **総説 (Review)**: ある特定の分野の関連論文を網羅的に紹介し、啓発的な示唆に富んだ内容の論文。
- (5) **総合論文 (Account)**: 著者の研究を中心として、その分野の研究について総合的観点から新しい論評を加えた論文。

1.1.2 記事

- (a) **解説 (Commentary)**: コンピュータ化学分野の相互理解を深めるための原稿として、著者の専門分野の研究について、啓発的に理解しやすく平易な表現で解説したもの(著者の成果を中心とする概説は解説ではなく総合論文とする)。新規性は問わないが、有用性のあるものとする。
- (b) **コンピュータ化学ハイライト (Highlights in Computer Chemistry)**: 注目研究・最新研究の紹介。成果・背景・現状・新技術・興味の焦点・近い将来の問題などについて自由に記載したもの。
- (c) **ソフトウェア・レビュー (Software News and Reviews)**: コンピュータ・アプリケーション・ソフトウェアの紹介(4頁以内)。業者可。広告を別に出してもらえれば、ページチャージなしとする。ただし、本文は広告になっていないこと。

「記事」は、通常の学術論文としての査読はないが、編集室での審査を経て掲載とする。

1.2 使用用語

原稿は、英語か日本語を用いて専門外の人にもわかるように執筆する。特に、カタカナによる表現はなるべく避け、文献や注なども活用してわかり易い文章で記述する。

1.3 投稿手続き・投稿カード・審査

原稿は、オリジナルなもの(他で発表されておらず、発表予定もないもの)に限る。電子投稿は、下記 URL から行う。

[ScholarOne Manuscripts](http://mc.manuscriptcentral.com/jccj) (<http://mc.manuscriptcentral.com/jccj>)

1.3.1 アカウントの作成

[ScholarOne Manuscripts](http://mc.manuscriptcentral.com/jccj)メニュー画面の“If you do not have an account, click [Here](#).”をクリックする。氏名・e-mailアドレス・所属・住所を記入した後、ログインIDとPWの設定と会員

番号を入力する。

1.3.2 投稿

ID・PW を使用して JCCJ ログイン後、個人用アカウントの "Author Center" からログインする。画面の手順に沿って、原稿種別・タイトル・キーワード・カテゴリ・著者情報を入力する。共著者がいる場合は、共著者の氏名・e-mail アドレスを入力する。その後、審査員を2名以上推薦する（審査を希望しない審査員の記入は任意）。

編集室宛のコメントがあれば、カバーレターに記入する。

次の4点について確認し、チェックをいれる。「"投稿の手引き"に沿って作成されているか。」「SCCJ への著作権委譲について同意するか。」「発行時にページチャージが課金されることを確認したか」「他で発表されておらず、発表予定もないものであるか。」

CD 送付先（ページチャージ請求先）を入力する。日本国内の場合は、日本語で入力とする。

画面指示に従って、原稿ファイル（MS-Word 形式）をアップロードする。その際、アップロードするファイルの属性（本文・Table・Figure・その他）をダウンリストから選択する。アップロード可能なファイルについては、資料を参照のこと。なお、アップロードされたファイルは、自動で PDF ファイルと html ファイルに変換される。

最後にチェックリストが表示される。全て緑色のチェックがついていれば、投稿準備完了となる。必須項目の記載漏れには赤い×がついている。特に、自動変換されたファイルの確認をしていない場合は、Step7. Review and Submit の項目に赤の×が付くので注意。html, pdf それぞれのボタンをクリックして、ファイルを開き確認する。

Submit ボタンで投稿する。保存して後で作業を続行することも可能である。

1.3.3 審査

受理された論文は、審査員による審査の後、審査結果が e-mail で送られる。回答書ならびに修正は、上記投稿画面にて投稿と同様に行う。

1.4 出版形態

学会誌（JCCJ）に掲載可となった論文は、英文校正を行う。英文修正依頼の e-mail が届いたら、英文修正を行った後、最終稿を上記投稿画面にてアップロードする。最終稿は、PDF ファイルと電子出版のための Word 形式 (.doc) ファイルが必要となる。図やグラフなど.doc ファイル以外のファイルも追加で添付できる。TeX 等アップロードできないファイルについては、下記アドレス宛別途相談する。

日本コンピュータ化学会電子出版室 e-mail : jccjoffice@sccj.net

学会誌（JCCJ）に印刷、または、印刷予定の論文は、インターネット WWW（World Wide Web）を通じて読むことが出来る。ただし、回線の事故など不測の事態によりこのサービスが停止されても、本学会は一切の義務を負わない。学会誌のインターネット・アドレスは、以下の通りである。

URL <http://www.sccj.net/publications/JCCJ> 現在準備中

なお、現在の特許法では、電子出版物が「刊行物」として見なされることは難しいという解釈が支配的である。したがって、通常の印刷出版物に対して適用される特許法第30条(1)は、電子出版された時点で適用外とされる可能性がある。

日本コンピュータ化学会の会員は、学会誌（JCCJ）を無料で配布される。入会申込は、学

会の事務局（下記）への問い合わせ、あるいは、本学会のホームページ(URL <http://www.sccj.net>) へのインターネット・アクセスによって行うことができる。

〒111-0053 東京都台東区浅草橋 1-32-6
 コスモス浅草橋酒井ビル 4F (株) ベストシステムズ内
 日本コンピュータ化学会事務局
 TEL 03-5825-0599 ; FAX 03-5825-0654 ; e-mail : sccjoffice@sccj.net
 ※2008年4月12日から、上記住所に移転しました。

1.5 ページチャージ

論文投稿者は、受理論文が印刷された時点で、表1に示すページチャージを支払わなければならない。著者には、WEB公開されている著者論文の入ったCD-Rを郵送する。

表1 ページチャージ (円)					
1~2 頁	3~4 頁	5~6 頁	7~8 頁	9~10 頁	11 頁以上
15,000	25,000	35,000	45,000	55,000	10,000 / 2 頁当たり

1.6 著作権

Copyright Transfer Form をオンライン原稿校正時に送付するので、必要事項を記入して別途郵送する。

郵送先：〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学大学院理工学研究科 応用化学コース 太刀川達也研究室気付 日本コンピュータ化学会 学会誌-JCCJ 編集室。
 Facsimile, スキャン原稿によるメール添付も可。

新規開発のソフトウェアに関する報告の時は、プログラム添付の有無、日本コンピュータ化学会の SCCJ 登録ソフトウェアとして登録可能かどうかも記載する。学会誌に掲載された著作物の著作権（著作財産権）は、本学会に帰属する。ただし、著者は、学会から許可を得なくても、論文の PDF ファイルを著者自身または著者が属する組織の WEB サイトに公開することができる。その際、下記の内容を論文の最初のページに明記する必要がある。

Copyright 20xx Society of Computer Chemistry, Japan. : 最初のページの右ヘッダー。

DOI : 10.2477/jccj.Hxxxx : 全ての奇数ページの左フッター (Hxxxx は、原稿番号)。

Vol. 7, No. 3 以降は、必要事項が WEB 公開されている論文に記載されているが、それ以前の論文については、日本コンピュータ化学会 HP から申し込むと Copyright ならびに DOI の記載された論文が著者の元に送付される。

2. 原稿のまとめ方

2.1 原稿の体裁 (電子投稿・郵送共通)

- (a) 原稿は、A4 版 (21.0×29.6 cm)とし、下記の要領で作成する。原稿の上下に各 3.0 cm、左右に各 2.0 cm 以上の余白をとる。
- (b) 論文題名は、2行の空白行の後、左右 3.0 cm の余白、文字サイズ 16 ポイント、中央揃えで (センターリングして)、Times bold (日本語論文では明朝体太字) で印字する。句読点は、「,」,「.」を用いる。同じ幅で、著者名 (12 ポイント) と研究の行われた場所 (10 ポイント) を書く。字体はいずれも Times font (明朝体) とする。著者名と研究の行われた場所の対応を示すには、a, b, c... などの上つき文字をカッコをつけずに用いる。上つき、下つきの文字は、少なくとも 2.2 mm 以上の文字高となるように印字する。主著者には *印 を付け、e-mail アドレスをイタリック体で記す。
- (c) この下に受理日付等を編集委員会が入力するので、3行の空白行を入れる。
- (d) 論文の概要は、2.5 cm の左右の余白で、9 ポイントの文字サイズで Times font (明朝体) で印字する。行間隔は 1 行とする。概要は、読者が本文を読まなくても、その目的、方法、結論を理解できるように書く。必要ならば、本文中の化合物番号や図、表の番号を引用する。ただし、文献番号を引用してはならない。
- (e) キーワードを書く。2.5 cm の左右の余白、9 ポイントの文字サイズで、Times font で印字する。例えば、以下のように書く。
キーワード: Crystal structure, Molecular orbital, Curve fitting, Multimedia, Chemical education
- (f) 本文は、2段組で 2.0 cm の左右の余白、9 ポイントの文字サイズで、Times font (明朝体) で印字する。行間隔は 1 行とする。本文は、10 ポイントの文字サイズで、研究目的、方法 (使用機器、オペレーション・システム など)、結果と考察、結論 (Introduction, Method (instruments, operation system, etc.), Results and Discussion, Conclusion) 等の適当な見出しをつけて書く。謝辞は、見出しなしで簡潔に書く。
- (g) 文献および注は、本文中で連続した番号で以下のように引用する。Hosoya *et al.*[1, 2], Yoshimura [3 - 6], Newbold [7], and Hirano [8]。本文の後に参考文献 (および注) の見出しをつける。雑誌の引用法は、著者名 (細矢治夫, Tadayosi Yoshimura, Brian T. Newbold, and Kazutoshi Tanabe 等)、雑誌名、巻数、頁、発行年の順とする。雑誌の略記法は、できるだけ Chemical Abstracts の形式を用いる。ibid や idem は使用しない。雑誌のタイトルはイタリックで、巻数はゴシック体で印字し、発行年は、括弧で囲む。巻数のない雑誌では、発行年を括弧なしで、巻数の場所に移動してゴシック体で記す。引用文献が投稿中または印刷中の場合、その原稿かゲラ刷りのコピーを添付する。
- (h) 本文中で使用したプログラムは、その入手方法を必ず記載する。新規に開発したプログラムは、その配布方法を記載する。
- (i) 日本語で書かれた原稿の最後には、英文の要旨をつける。ここには、英語の題名、著者名とその所属、主著者の電話番号、ファクシミリ番号、電子メールアドレスを記載する。英文の要旨は、表や図の番号を引用して内容が分かり易く伝わるように工夫する。
- (j) Reference に和文表記がある場合は、全てローマ字で表記すること。ローマ字表記とは、和文を英語に翻訳することではなく、日本語読みのままローマ字で表記することである。欧文誌名を定めている場合は、必要があれば丸括弧に入れてローマ字誌名の後に付記する。欧文誌名を定めていないものに、欧訳誌名を付けてはならない。

例 Kagaku To Kogyo (Chemistry and Chemical Industry)

2.2 化合物の命名法

化合物の命名法は、IUPAC 命名法に従う。単位は、なるべく SI 単位を使用する。

参考：産業技術総合研究所 計量標準総合センター「国際単位系は (SI) は、世界共通のルールです」http://www.aist.go.jp/aist_j/topics/to2002/to20020909/si_all.pdf
丸善「化学便覧 基礎編」

2.3 表, 図, 構造式

表, 図, 構造式については、英文の投稿規定を参照して作成する。なお、図や表の説明文およびこれらの中に書き込む文字は、日本語の論文でも英語で記し、これらの番号を英文要旨でもなるべく引用する。図には、横軸・縦軸のタイトルと単位を明記する。カラーの図面も受け付ける。ただし、カラーでの公開は電子出版のみで、印刷は白黒となる。したがって、カラー原稿を白黒でコピーしたときに、細部が明瞭に判る図を作成する。

2.4 電子付録

必要な場合は、補足資料（電子付録）を付けることができる。文献の後に電子付録 (Supplementary Materials) の見出しをつけて、その名称を一覧表示する。補足資料は、pdf ファイルであることが望ましく、Figure S1, Table S1, Video S1 などの名称をつける。補足資料の最初のページには、論文タイトル、著者名を示す。CGI その他のアプリケーションのように機種に依存するものは補足資料（電子付録）とせず、継続的に公開可能なサーバー上に公開して、その URL を引用する。映像、音声、動画、大型図版、JAVA アプレットなどの www (Plug-in を含む) で動作可能な補足資料は、それぞれ別ファイルとする。なお、ファイル名にはスペース, /, -, ", ' を用いない。ファイル数は 1 論文あたり最大 5 ファイルまでとし、ファイルサイズは 1 論文あたり最大 10MB とする。なお、補足資料は、審査期間中審査員や編集委員が利用可能でなければならない。

※投稿は、原則として電子投稿のみで受け付けます。郵送での投稿を希望される場合は、下記までご連絡ください。なお、郵送による投稿の場合は、オリジナル原稿 1 部・コピー 2 部の計 3 部と投稿カードが必要になります。

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 埼玉大学大学院理工学研究科
応用化学コース 太刀川達也研究室気付 日本コンピュータ化学会 JCCJ 編集室
TEL 048-858-9063; FAX 048-858-9274 ; e-mail: jccjoffice@sccj.net

ScholarOne Manuscripts

Files Available for uploading

	◎ : ScholarOne Manuscripts will automatically convert these uploaded files into single PDF and HTML.	
Kind of file/extension	Japanese	English
Word (doc)	◎	◎
Word (docx)	◎	◎
pdf	◎	◎
rtf	◎	◎
odt	○	○
txt	◎	◎
LaTeX	検証中.	検証中
AMSTex	検証中	検証中
tif	◎	◎
gif	◎	◎
jpg	◎	◎
eps	◎	◎
psd	◎	◎
png	◎	◎
Postscript	◎	◎
PICT	◎	◎
Excel (xls)	◎	◎
Excel (xlsx)	◎	◎
PowerPoint (ppt)	◎	◎
The others	Image: bmp, ai etc. Animation: OK	

Journal of Computer Chemistry, Japan Submission / Copyright Transfer Form

Manuscript No. :

Authors' Names, Affiliations and Addresses

Corresponded author's e-mail address

Dates received and accepted

I / We submit to *Journal of Computer Chemistry, Japan* the manuscript specified below. I / We certify that the work reported here has not received prior publication and is not under consideration for publication elsewhere in any medium.

Type of Paper/ Article: General Paper _____, Note _____, Technical Paper _____, Review _____, Account_ _____
Commentary _____, Highlights _____, Software News and Reviews _____

Number of manuscript pages: _____, Page charge: _____ (Japanese Yen)

Original Source Program File: Enclosed _____ Not enclosed _____

Do you want to distribute any programs appearing in the manuscript by way of the *Society of Computer Chemistry, Japan* (SCCJ)? Yes _____ No _____

*****COPYRIGHT TRANSFER*****

I / We agree to transfer to *Society of Computer Chemistry, Japan* (SCCJ) the copyright of the above-mentioned manuscript, when the manuscript is accepted for publication in The Journal in any form.

Author's signature _____ Date _____

The author(s) may, without seeking permission from JCCJ, make available the PDF (Portable document format from Adobe Systems Inc.) of the Paper via personal website(s) of the Author(s) or via the Internet of the organization(s) where the Author(s) works providing that the following statement appears on the first page, or screen, of the Paper as posted on the server:

Copyright 200x Society of Computer Chemistry, Japan. : The right header of the first page.

DOI: 10.2477/jccj.H**** (manuscript No.) : The left footers of all odd pages.

This paper was published in "x. xxxx, x. xxxx and x. xxxxx (author's name (s)), *J. Comput. Chem. Jpan.*, xx (Vol. No.), xxx-xxx (pages), xxxx (year). The internet address of the above Journal is as follows:

[http://www.sccj.net/publications/JCCJ/v5\(Vol. No.\)/n3\(issue No.\)/a12\(article No.\)/document.pdf](http://www.sccj.net/publications/JCCJ/v5(Vol. No.)/n3(issue No.)/a12(article No.)/document.pdf).